

環境にやさしい米作りにおける、収益力の向上へ

DATA

導入活用
目的

稲作の収益性向上

テクノロジー

IoT、AI、ビッグデータ

Profile

兵庫県豊岡市中央町2番4号

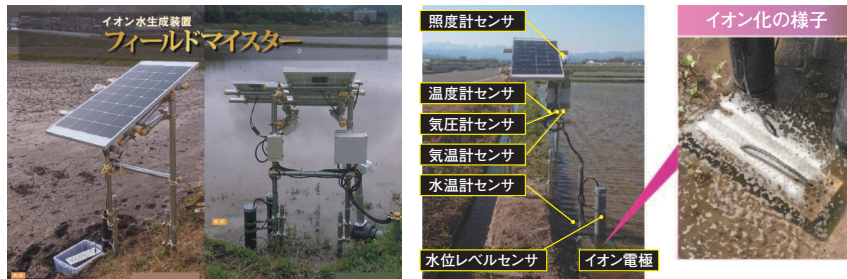
事業内容：自治体

URL：https://www.city.toyooka.lg.jp/

日本海に面した兵庫県豊岡市の但馬地域では、「コウノトリ育む農法無農薬栽培」に挑戦。コウノトリのエサとなる生き物が育つ環境で安全・安心の米づくりを行っている。

除草薬が使用できず、深水管理で雑草を抑制しているが、収量が少なくなりがちな点や水管理の手間が課題だった。

図 イオン水生成装置「フィールドマイスター」



気温、湿度、水温、気圧、照度、水位センサを太陽光パネルの電源だけで計測して、クラウドに定期的に送信。クラウドに送信された環境データをAIで判定し、**イオン処理の自動制御**を実施

そこで、イオン水生成装置「フィールドマイスター」を導入。

気温、湿度、水温、気圧、照度、水位センサを太陽光パネルの電源だけで計測して、クラウドに定期的に送信。さらに、環境データをAIで判定し、イオン処理の自動制御を実施して

いる。収集しているデータから、刈り取り適期判断や病害アラートも可能である。

田植え前の雑草駆除については、既存の栽培技術体系を変更することなく、より雑草繁茂効果を高め、収穫量増や見回り時間の削減を実現した。